

令和元年度 第10回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2020年1月24日（金）

場 所 豊岡市役所本庁舎3階 庁議室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午前9時30分

閉会時間 午前11時00分

○ 出席委員の氏名

教育長 嶋 公 治

委員（教育長職務代理者） 佐伯 和亜

委員 向井 美紀

委員 飯田 正巳

委員 成田 壽郎

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	堂垣 真弓
	教育総務課長	永井 義久
	こども教育課長	飯塚 智士
	こども教育課参事（こども支援センター所長）	川端 美由紀
	こども育成課長	木下 直樹
	こども育成課参事	山本 加奈美
	教育総務課課長補佐	木之瀬 晋弥
	教育総務課教育総務係長	竹内 有子

事務局以外

文化振興課主幹兼文化振興係長 武縄 真明

スポーツ振興課長 池内 章彦

生涯学習課課長補佐 吉田 政明

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

成田 壽郎 委員

第2 前回の会議録の承認

2019年12月20日（金）開催 第9回定例会

第3 教育長の報告

第4 地域コミュニティ振興部の報告

1 文化振興課

- (1) 青年団子ども参加型演劇「サンタクロース会議」学校公演実施報告

2 スポーツ振興課

- (1) 東京2020オリンピックの取組みについて

3 生涯学習課

- (1) 2019年度豊岡市成人式実施報告

第5 議事

- 議案第28号 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会委員の任命について
- 議案第29号 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会への諮問について
- 議案第30号 豊岡市学校施設個別施設計画の策定について
- 報告第29号 寄附物件の受納について

第6 教育委員会事務局の報告

1 教育総務課

- (1) 2020年度豊岡市奨学生の募集について
- (2) 豊岡市立五荘小学校・奈佐小学校統合準備委員会の委員について

2 こども教育課

- (1) 問題行動等の状況について
- (2) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

3 こども育成課

- (1) 2020年度就学前教育・保育充実に資する学級経営及び担任配置について
- (2) 第2次スタンダード・カリキュラムの策定について

第7 委員活動報告

第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午前9時30分

(教育長)

ただ今から、令和元年度第10回教育委員会会議を開会いたします。本日は、すべての委員が出

席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は、成田委員にお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程第2 前回の会議録の承認についてです。12月20日に開催しました第9回定例教育委員会の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回12月20日の教育委員会会議から、本日までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

1月8日から教職員の人事ヒアリングが始まり、全て終了した。小学校29校、中学校9校、非常勤も含め全部で660人ぐらいの教職員の人事をすることになる。神戸市での人事異動ルールがいじめを生む原因となったという報道があるが、豊岡は校長同士の人事はやっていない。方針としては、9年を超える者、初任者から3年を超える者については、強力に異動を進めるという方針である。ただ、校内事情があり、中学校については教科の絡みがあるので、そうでない職員もいる。先ほども言ったように、校長同士の1対1の人事折衝はしない、校長会の協力を得ながらやるが、まずは、来年度、校長がどういう学校経営をしたいのか、それについてどういう布陣が必要なのかということをして全ての校長に聞き取る、これが人事ヒアリングである。その後、校長会を中心に、学校間の情報交換をするが、必ずその場にこども教育課長、あるいは、指導係長が同席し、どこがどういう情報を提供したのかを教育委員会が全て把握し、最終案を作り、最後は教育委員会が責任をもって進める。人事で問題も出てくるが、その問題は、しっかりと教育委員会が介入しながら進めていくことになる。そのかたちで今進めているということをご承知おください。

次に、統合関係についてである。この後、報告があるが、五荘・奈佐小学校統合準備委員会が1月21日に発足し、各校12名の代表者が集まり、温かい雰囲気ではじまったと聞いている。

それから、1月9日にJAたじまの来客があった。別件で来られたが、その職員の方がこのような話をされた。「自分の息子が小学生のときに、西気小と清滝小が統合した。自分は西気地区に住んでいて、地域住民として、統合した後も半年間ぐらいずっと、これでよかったのかと悶々としていた。半年後に子どもに統合してみてどうだったかと聞くと、「めちやくちや楽しい」というひと言を子どもが言ったので、ホッとしました」とおっしゃっていた。このような同じ教育課題を抱えている学校がたくさんあると思うので、是非とも子どもの声を聞いて生かして欲しいという、そういう後押しをしていただいたので、今までどおり、子どもを第一に考えながら、このまま進めていきたいと思う。

それから、1月16日に港地区区長会の会長、副会長が来られ、PTAから統合についての要請を受け、今後、どのようにしたらいいのかを考えてみたいので、相談に乗ってほしいということであった。いろんな地区のこれまでの経緯などを紹介させていただいたが、統合について審議会答申を待てない状況の場合は、あくまでも地域が今後どうしたいのかということの合意形成を図ることが重要だと考えている。

【日程 第4 地域コミュニティ振興部の報告】

(教育長)

日程第4 地域コミュニティ振興部の報告に移ります。まず、文化振興課 (1) 青年団子ども参加型演劇「サンタクロース会議」学校公演実施報告 について、文化振興課の説明をお願いします。

1 文化振興課

(1) 青年団子ども参加型演劇「サンタクロース会議」学校公演実施報告

《文化振興課主幹兼文化振興係長の説明概要》

青年団子ども参加型演劇「サンタクロース会議」学校公演実施報告について、資料に基づき説明する。

サンタクロース会議は、子どもたちが演劇に親しむ機会を作るとともに、豊かな感性や発想力・表現力を育成することを目的として、11月26日から12月5日まで、市内2会場で公演を行い、全小学校2年生、693名が参加した。

引率の先生と子どもたちへのアンケート結果では、昨年度同様、各会場で子どもたちが積極的に発言し、演劇に入り込んでいる様子が見られた。

課題として、引率の先生からのご意見を踏まえ、来年度は、日程と上演時間の調整、公演のねらい（豊かな発想力、表現力の育成）の共有を特に注意したいと考えている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

続きまして、スポーツ振興課 (1) 東京2020オリンピックの取組みについて、スポーツ振興課の説明をお願いします。

2 スポーツ振興課

(1) 東京2020オリンピックの取組みについて

《スポーツ振興課長の説明概要》

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への取組みについて、別冊資料に基づき説明する。

10月25日に「とよおか2020スポーツ実行委員会」兼「東京2020オリンピック聖火リレー豊岡市実行委員会」を設立した。教育委員会にも構成団体に入らせていただき、佐伯委員に出席いただいている。

まず、事前合宿については、ドイツ・スイスのボート代表チームが城崎で事前合宿を行う協定を結んだ。ドイツ代表チームが7月3日から19日、スイス代表チームが7月9日から19日、最大参加人数が70名である。事前合宿期間中に、代表チームの選手との交流事業、歓迎セレモニーや市民交流会、ボート教室などの実施を検討し、調整を進めている。

また、機運醸成の取組みとして、ニュース「とよおか2020」を発行し、主に小中学校に配付し情報発信を行っている。

聖火リレーについては、5月24日（日）午前中、兵庫県の出発式が豊岡市で開催され、六方防災ステーション立野拠点から市役所までの約2.5kmをランナー1人あたり約200m走ることになる。聖火リレーの実施にあたり、ぜひ、子どもたちに関わってもらいたいと考え、案としては、市内保育園・認定こども園・幼稚園が応援メッセージや絵を自由に書いた模造紙等をセレモニー会場や沿道に掲示する、小学生が絵やメッセージを書いた応援旗を作成し、それを沿道の観客等が持って聖火リレーの応援をするということを考えている。また、市内中学校吹奏楽部に沿道での演奏をお願いしたいと考えている。

これまでの取組として、11月7日に城崎中学校1・2年生を対象にオリンピック講演会を開催し、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会参与で、豊岡市スポーツ特別アドバイザーである上治氏に講演いただいた。

また、「みんなでスポーツ応援キャラバン」として、聖火リレープレゼンティングパートナーであるトヨタ自動車に協力いただき、11月16日に豊岡に本物の聖火リレートーチを持ち込み、各小中高校、特に中学校・高校のクラブの子どもたちに聖火トーチを見ていただいた。市民も含めて総勢735名に参加をいただいた。

今後、オリンピックにむけて取組みを進めていくとともに、スポーツに関心を持っていただけるよう情報発信をしていきたいと考えている。

（教育長）

続きまして、生涯学習課（1）2019年度豊岡市成人式実施報告 について、生涯学習課の説明をお願いします。

3 生涯学習課

（1）2019年度豊岡市成人式実施報告

《生涯学習課課長補佐の説明概要》

2019年度豊岡市成人式実施報告について、資料に基づき説明する。

1月12日に教育委員の皆さまにも出席いただき、成人式を実施した。対象者数845名に案内し727名の参加があった。例年、対象者数の8割程度の参加だが、今年度の参加率は86%であった。

成人式は、新成人12名からなる実行委員会で企画し開催するが、昨年8月から計6回集まり準

備を行った。式典、中学校ごとの思い出のフォトムービー、恩師からのビデオメッセージ、記念写真撮影と例年どおり実施した。

昨年同様、動画公開サイト「ユーチューブ」で生中継を行い、最高視聴数として585件あり、終了時延べ1,000件程度のアクセスがあった。

2022年4月に改正民法が施行され、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられる。現行方式の成人式は2022年1月まで行い、その後、2022年4月以降の成人式のあり方については、現在検討しているところであり、2020年3月までに方針を決定し、公表したいと考えている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(佐伯委員)

フォトムービーですが、著作権の関係で中継を見ている人は、音楽がなく字幕でしか見られないので、保護者からなんとかならないですかと言われました。使ってもいいような音楽とか、思い出の曲とかにできないのでしょうか。

(生涯学習課課長補佐)

著作権の関係で、ユーチューブで流す際には、音楽は配信できないことになっているので無音となります。また、関貫議長の音楽で新成人に伝えるお祝いメッセージ、これも無音になってしまいます。著作権の関係でやむを得ないと思っています。

(佐伯委員)

記念品は、市が決めておられるのですか。

(生涯学習課課長補佐)

過去の記念品などを踏まえて、実行委員で決めていただいています。

【日程 第5 議事】

(教育長)

それでは、日程第5 議事に移ります。

議案第28号 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会委員の任命について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 議案第28号 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会委員の任命について

《教育総務課長の説明概要》

小中学校適正規模・適正配置審議会委員の任命について、資料に基づき説明する。

豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会条例第3条第2項の規定に基づき、18名の委員を任命する。

この委員の選任にあたっては、地域性、男女の比率を考慮し、男性10名女性8名としている。内訳は、学識経験者2名、教育・保育関係者4名、市民の方（小中学校・認定こども園・保育園

P T A等関係者、区長、学校評議員） 8名、関係行政機関（子育てセンター指導員） 2名、教育委員会が必要と認める者 2名である。

（教育長）

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

（佐伯委員）

学校長やP T A代表の方は、新しい年度になると変わると思いますが、新しい方が委員になるということでしょうか。

（教育総務課長）

委員は、充て職ではなく、答申までの間はこの方々をお願いしたいと考えています。

（教育長）

その他ありませんでしょうか。

それでは、議案第28号 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会委員の任命について、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

（委員）

異議なし

（教育長）

それでは、議案第28号 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会委員の任命について、原案のとおり可決します。

（教育長）

続きまして、議案第29号 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会への諮問について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 議案第29号 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会への諮問について

《教育総務課長の説明概要》

豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会への諮問について、資料に基づき説明する。

2月3日（月）に第1回審議会を開催し、2021年3月まで合計6回の審議会を予定している。審議会への諮問書（案）として、小中学校における適正規模・適正配置のあり方について諮問し、2021年3月に答申をいただく予定である。

審議会の中に各地域での意見交換や必要に応じて部会を設置することになっている。部会の中で地域の考えをお聞きし、審議会に諮り、議論を進めていきたいと考えている。答申をいただいた後、地域と議論しながら市で豊岡市立小中学校適正規模及び適正配置に関する計画を策定することになる。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、議案第29号 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会の諮問について、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

それでは、議案第29号 豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会の諮問について、原案のとおりとします。

(教育長)

続きまして、議案第30号 豊岡市立学校施設個別施設計画の策定について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 議案第30号 豊岡市学校施設個別施設計画の策定について

《教育総務課長の説明概要》

豊岡市学校施設個別施設計画について、別冊資料に基づき説明する。

計画の必要性として、持続可能な学校整備を進め、老朽化している学校施設の長寿命化改修を進めるため、また、国の学校整備にかかる負担金・補助金の採択条件として、2020年度中までに個別施設計画を策定する必要がある。

計画の考え方は、長寿命化改修を実施し、80年改築を基本とし、施設の延命化を図り、年平均9億円の予算として試算している。

計画期間は、2020年度から2029年度までの10年間とする。対象施設は、小学校29校中19校52棟、中学校9校中7校17棟である。豊岡市学校施設整備計画の整備方針に基づいた整備とし、下限の目安に達している又は達する見込みである小規模校は対象外としている。ただし、極小規模校の建物についても必要な修繕等を行っていく。

改修等の整備順位はあくまで目安であり、市の財政状況や小中学校適正規模・適正配置の審議状況等を踏まえ、変更になる可能性はある。

長寿命化による効果として、従来型の施設整備の場合では、40年間の総事業費は約735億円、平均年間事業費は約18.4億円となり、長寿命化改修を実施し、施設の延命化を図った場合は、年間の総事業費は約600億円、平均年間事業費は約15.0億円となり、総事業費で約135億円、年間事業費で約3.4億円の削減が見込める。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

先ほどの説明では、この計画に施設の配置計画はないと言われましたが、今後、統廃合のことがあるから配置は盛り込まない、載せないということですか。

(教育総務課長)

この計画は、あくまでも現在ある学校施設をどう長寿命化していくかという内容になります。統廃合の状況や適正規模・適正配置計画の内容によって、この学校施設個別施設計画は見直しが必要になると考えています。

(飯田委員)

今の施設をどのようにするかということと、再編計画とは別に考えているということですが、再編計画によって今ある施設そのものの整備が不要になり、余分な経費を使わなくていいと思うのですが。

(教育総務課長)

おっしゃるとおりです。個別施設計画では、統廃合のことは入っていませんが、もし、統廃合により廃校となった施設については、この計画から除外していくということになります。

(教育長)

それでは、議案第30号 豊岡市学校施設個別施設計画の策定について、原案のとおり可決してよろしいか。

(委員)

異議なし

(教育長)

それでは、議案第30号 豊岡市学校施設個別施設計画の策定について、原案のとおりとします。続きまして、議事報告に移ります。報告第29号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○報告第29号 寄附物件の受納について

≪教育総務課長の説明概要)

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体4件、個人3件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

【日程 第6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

日程第6 教育委員会事務局の報告に移ります。教育総務課(1) 2020年度豊岡市奨学生の募集について、教育総務課長の説明をお願いします。

1 教育総務課

(1) 2020年度豊岡市奨学生の募集について

《教育総務課長の説明概要》

2020年度豊岡市奨学生の募集について、資料に基づき説明する。

募集要項は、昨年度と内容の変更はなく、申込期間は4月6日から4月28日までとしている。

2月3日に各学校に募集要項を送付し、市ホームページ、市広報等で周知する。

締切り後、5月中旬に作文審査、6月中旬に奨学生選考委員会を開催し、奨学生を決定する予定である。

また、交通遺児奨学生の募集についても、昨年度と内容の変更はなく、随時受付を行っている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(2) 豊岡市立五荘小学校・奈佐小学校統合準備委員会の委員について、教育総務課長の説明をお願いします。

(2) 豊岡市立五荘小学校・奈佐小学校統合準備委員会の委員について

《教育総務課長の説明概要》

豊岡市立五荘小学校・奈佐小学校統合準備委員会の委員について、資料に基づき説明する。

五荘小学校と奈佐小学校、それぞれの地域代表、PTA代表、就学前保護者、学校職員12名ずつ計24名の委員で構成した。

第1回統合準備委員会を1月21日に開催し、委員長に奈佐地区区長会長の深山氏、副委員長に五荘地区コミュニティ会長の岡崎氏が選任された。

第1回目では、校名・校歌・校章・校旗について、現在の五荘小学校のものを使うことに決ま

った。また、総務部会・通学部会・学校運営部会の3つの部会を設置し、それぞれの部会で正副部会長を選出した。通学部会では、制服や体操服等についても議論が行われた。

第2回統合準備委員会は、2月21日に開催予定である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、こども教育課からの報告に移ります。(1) 問題行動等の状況について、こども教育課長の説明をお願いします。

2 こども教育課

(1) 問題行動等の状況について

《こども教育課長の説明概要》

問題行動等について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(向井委員)

不登校の状況で、小学生の10日以上欠席者がすごく多くなっていることがとても気になりますが、これはなぜでしょうか。

(こども教育課長)

教育委員会としては、不登校の基準である欠席30日以上の子童生徒だけを注視しているわけではなく、10日以上休むということ、また、その数が増えているということは、何らかの要因があるだろうと考え、早めに原因を探りながら不登校解決に向けて、各学校でその要因に応じた対応を指示しているところです。なかなか対応が難しいこともありますが、早めの対応が重要になってくると思っています。

(教育長)

その他よろしいでしょうか。

続きまして、(2) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

(2) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

こども支援センターの活動状況について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、こども支援センターのふれあいルームには、引き続き2名の生徒が毎日通級している。12月から新しく男子生徒が通い始めたが、1月初め以降、通級できていない状況となっている。また、1月から女子生徒が1名加わったが、体調が不安定なため、毎日は難しいが通級してきている。12月には「登校しぶりを考える親の座談会」を開催し、中学生の保護者3名、小学生の保護者5名に参加いただき、情報共有や個別相談も行った。

特別支援の取組状況は、センターへの来所や学校園訪問による教育相談は61件実施している。また、認知能力や視機能・知能などの各種検査は8件実施した。

家庭児童相談の取組状況は、児童虐待通告が3件5名あった。母子世帯におけるネグレクトとして1世帯1名、父親からの身体的虐待と心理的虐待として1世帯3名、さらに、身体的虐待により要保護児童対策協議会で対応していた家庭において、新たに子どもが誕生し、その子どもについても心理的虐待として受け付けている。12月に新たに対応を始めたケースは、先ほどの通告も含め8世帯16名ある。親の養育能力や虐待のほか、性格行動に対する育成相談もあった。

一時保護については、10月に一時保護となっていた中学生1名は、12月27日から市外の里親に一時保護委託されることになり、住所も移し、転校の手続きも行ったため、豊岡市から他市へのケース移管となった。12月に新たに1件、保育園児が夜1人で放置されているというネグレクトのケースがあり、こども家庭センターにより一時保護されている。また、1月に入って2歳男児が両親の養育能力の関係で一時保護されており、現在の状況としては、6世帯9名が一時保護されている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、こども育成課からの報告に移ります。(1) 2020年度就学前教育・保育にかかる学級経営及び担任配置について、こども育成課長の説明をお願いします。

3 こども育成課

(1) 2020年度就学前教育・保育充実に資する学級経営及び担任配置について

《こども育成課長の説明概要》

就学前教育・保育充実に資する学級経営及び担任配置について、資料に基づき説明する。

これまでの経緯として、2019年度入園申込状況において、4・5歳児のいずれかの園児数、もしくは、園全体の園児数が極めて少ない園が複数あった。幼児期にふさわしい生活の環境、また、子ども同士の豊かな関わりができる環境を保障するために、4・5歳児のいずれかの園児数が6人未満の場合は、異年齢の幼児を同一学級に編成して行う混合保育、もしくは、異なる学級の園児と一緒に活動する合同保育を提案した。初年度となる2019年度は、4・5歳児のいずれかの園児数が2人以下の4園において実施することにした。中筋幼稚園と寺坂幼稚園において混合保育

を、日高幼稚園と福住幼稚園において合同保育を実施した。この取組みについて、職員の意見を聴取した結果、子どもが子ども同士の関わりの中で育つことに一定の評価ができるという判断をした。

来年度2020年度の学級経営等は、入園申込状況の結果、先ほどの4園のほかに、新たに、田鶴野幼稚園・新田幼稚園・神美幼稚園の3園を加えた7園が、4・5歳児のいずれかの園児数が6人未満で、混合保育の対象となり、今後、混合保育を実施する方向で調整していきたいと考えている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

今後のスケジュールとして、1月下旬に入園説明会が開催され、そこで保護者へ説明されますが、戸惑いが起きるのではないかと思います。時間がない状況ですが、保護者へしっかりと説明をしていただかないとなかなか理解が得られにくい部分もあると思うので、よろしく願います。

(こども育成課長)

保護者へは各園での入園説明会で説明していただくと同時に、文書でも周知させていただくことにしています。

(こども育成課参事)

来年度から新たに混合保育になる園につきましても、今年度も少ない園児数のため、実質的な保育は合同保育を実施していただいていたので、保護者はどのように保育をしているかということは、知っておられると思いますが、丁寧に説明し、より理解を得られるようにと考えています。

(教育長)

資料には、混合保育・合同保育のメリットが書かれていますが、デメリットも伝える必要があると思います。このメリットを見れば、少人数でも大丈夫だと保護者は安心感を持ちます。解決できない課題、デメリットがあるということを保護者に伝える必要があると思いますので、よろしく願います。

(教育長)

その他ありませんでしょうか。

続きまして、(2) 第2次スタンダード・カリキュラムの策定について、こども育成課参事の説明をお願いします。

(2) 第2次スタンダード・カリキュラムの策定について

《こども育成課参事の説明概要》

第2次スタンダード・カリキュラムの策定について、資料に基づき説明する。

策定の経緯として、2010年11月に「豊岡市就学前の教育・保育計画『スタンダード・カリキュラム』」を策定し、市内いずれの就学前施設においても、質の高い教育・保育を実践している。国は、2017年に「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を改訂し、市も「第2次豊岡市就学前の教育・保育計画『スタンダード・カリキュラム』」を策定した。

国における主な改訂のポイントは、保育園・認定こども園・幼稚園すべての施設を、幼児教育を行う幼児教育施設として捉えるとなった。特に、3歳以上児の保育を幼児教育として明確化し、幼児教育において、育みたい資質・能力及び幼児期の終わりまでに育ってほしい姿が共通のものとして明示されている。また、非認知能力の重要性として、乳幼児期からの丁寧な対応、応答的な姿勢、温かい受容がとても大切だということが改めて確認されている。そして、子どもの主体性や学びを連続的に捉え、小学校教育へ確かな接続を図ることも明示されている。

これらを踏まえ、第2次スタンダード・カリキュラムは、国の改訂ポイントを組み込むとともに、「子どもの姿・事実」からカリキュラムを編成している。各園・各年齢の保育のエピソード記録を出していただきカリキュラムを編成した。さらに、非認知能力を育むには、0～2歳児も大事となるため、0・1・2歳児を細かく丁寧に内容を充実させた。「めざす子ども像・ねらい」に非認知能力の中でも、特に就学前により大切とされている、自立・興味・関心・協同性の4項目を設定した。

具体的な内容は、第4次とよおか教育プランの基本理念と基本方針にのっとり策定した。その中でも、就学前においての、めざす子ども像を豊岡らしさを大切に、「自分が大好きな子ども」「夢中になって遊ぶ子ども」「友だちが大好きな子ども」とした。また、「支援のいらぬ子どもは1人もいない」という視点で、子どもに関わることを基盤とすることと、保育者が保育に取り組む上でイメージしやすく、発達を踏まえながら、深めていけるように各年齢児の大切にしたい子どもの姿をまとめた。

また、第2次スタンダード・カリキュラムと小学校教育との確かな接続をイメージし、図式化した。それは、発達の連続性・つながりにおいては、「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ち通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」3つの視点が豊岡市独自の「育てたい5つの力」につながっていき、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」となり、それが小学校への知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学習に向かう力や人間性等につながっていくというイメージである。

さらに、各年齢児のめざす子ども像とねらいを一覧に記載している。一覧にすることにより、発達段階を意識することができ、発達の見通しを持って計画することを目的としている。また、生活・遊び・人との関わりを意識して内容を考え、記載の順も関連性を持たせてまとめている。

今後は、子どもの見取り方研修会の開催、第2次スタンダード・カリキュラムを活用した公開保育研修会の開催、また、保護者の方々にも広く情報発信し、本市の教育・保育の充実に資するよう努めたいと考えている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

557のエピソードがこのカリキュラムの裏付けになっています。例えば、「こういう関わりをし

たときに、こんな動きになった。だから、よかった。けれども、こんな課題もある」というようなエピソードを集めてきて、グループワーキングを持ち、精査して出来上がっています。市内のすべての園がここに知恵を出したという感じです。ポイントとして、今までの計画では、0・1・2歳児のカリキュラムはなかったが、今回は、それを加えたということ、小学校へのつながりがあるということです。このカリキュラムを行うためにどういう遊具や教具を使って、どのようにするのかというのは、「すすくプログラム」につながっていきます。

(佐伯委員)

0歳児のカリキュラムは「何ヶ月」という表記になっていて、1歳児からは、1期(4～5月)というような括りになっていますが、1歳児や2歳児は、生まれた月によって成長が全然違ってくるので、1歳児の段階で4～5月というような区切りをするのは少し違和感があります。

(こども育成課参事)

計画を作る段階で、月齢により異なるという事例がたくさんありました。そこを意識し、子どもにより発達も違うので個人差を大切にしたいという思いで、「期(月)」の区切りをあえて斜め線にしています。月ごとに縦線で区切ってしまうと、この時期にはこの内容や発達をという意識になってしまうので、なだらかにという意味や一人一人の発達を大切にするという思いも含めて斜め線にしています。

(教育長)

0歳児は6期に分かれています、1歳児からは3期に分かれています。差異をしっかりと見ることが必要だという指摘ですので、よろしくをお願いします。

それでは、各課からの報告は終了いたします。

【日程 第7 委員活動報告】

(教育長)

続きまして、日程第7 委員活動報告に移ります。先日実施しました視察研修についての感想や意見をお話ししていただきたいと思います。

(向井委員)

コミュニティ・スクール導入にあたって、先生方に負担がかかってしまう、負担軽減に関しては、あまり得策がないかなと感じました。先生方がコミュニティ・スクールを導入している学校に来たら大変だと思うのではなく、こんなものだというふうに捉えて、コツコツと地道にされていることが成功に導いているのかなと思いました。先生は「子どもが好きで教師になったから、子どもたちが成長して、よくなっていくのは嬉しいものだから、そこに力を注いでいく」とおっしゃったことが心に残っています。

赤穂西小学校では、子どもたちに素敵なあいさつで迎えてもらいました。コミュニティ・スクールが導入されていて、普段から地域の人たちと接しているから、私たちにも人懐っこく出迎えてくれたのかなと思いました。垣根なく話ができコミュニケーションがとれるのは、コミュニティ・スクールのいいところだと感じました。

(飯田委員)

研修を終えて、地域学習を通して教育推進の向上を狙ったという、その狙いは非常にいいと思いますが、将来、さらに進むであろう再編計画に合わせて、どのような効果が表れるのかということを感じました。それぞれの地域には、異なった歴史や風土が学校の中や教育の中にどれだけ浸透するのか、目的を明確にしなければ、上意下達のようにになってしまうのではないかという気がしました。主軸は、児童生徒が人として、たくましく生きる力を育てることが、教育ではいちばん大事ではないかと思います。コミュニティ・スクールで、地域が学校というものを大事にしたいという、そのような思いはあるかと思いますが、その辺をしっかりと押さえておかないと、豊岡バージョンに置き換えたときに、どのようにするのかをもう一度考え直す必要があると思いました。

今、コミュニティ・スクール、学校再編、あるいは、小中一貫教育、このような大きな柱をそれぞれでやると、かえってバラバラになってしまう。根本のところは何なのかということを押さえておきながら、それぞれの柱を1つ1つやっていくということに、考えを持っていきたいと思いました。

(成田委員)

視察に参加した校長先生からは、視察した2つの学校でやっていることは、今の学校評議員制度の中でもできることではないかというような声が聞こえてきました。新しくコミュニティ・スクールというものができるということで、いちばん大切なことは、学校評議員制度よりも、もっと地域のレベルが上がっていく、そういうものだと思っていました。

特に、先生の任用に関することにも意見ができるということが入ってきて、地域がかなり教育に対する発言力や力を持つ制度だと理解しました。実際には、任用に関わる部分はコミュニティ・スクールの権限から除外しておられるとのことで、今の学校評議員制度とどのような違いがあるのかということ強く感じました。

しかし、地域がもっと主体性を持って教育に関わらなければならないという方向、これが大事にされないといけないのではと感じました。この制度を実施するにあたっては、地域が学校に協力というよりも、この制度を導入することによって、逆に、地域のコミュニティとしての力を高めていくという方向性を持たないといけないのではないかと強く感じました。

確かに、既に協力体制という意味では非常に進んでいるところではありますが、果たして地域の教育力、言ってみれば、自分たちの教育というのは自分たちで作っていかうじゃないかという、そのような高い自治意識に近いようなものを住民の人たちが持っていかなければならない。学校を作ることによって、それをまた鍛え上げていかなければならないという、その方向性が必要ではないかということ強く感じました。

(佐伯委員)

メリットやデメリットをいろいろお聞きして、小中一貫教育を進める上で、コミュニティ・スクールはすごく大事だということを感じました。また、子どもや地域のつながりが太くなっていることや「学校応援団」の方々に見守られていて、頑張っていけるというようなお話もお聞きでき勉強になりました。

デメリットとして、会議が多いとか、主に、教職員の人たちが大変になってくるという話がありました。そこは、私としては想定内のことでしたので、あまり驚きませんでした。「こんなことがあって、すごく大変だったけれども、こうしたらうまくいった」というような事例を全国からいろいろ入手できれば、豊岡市でやっていく上でもっと対策ができるのではないかと思います。

それぞれの学校の校長先生がとてもフットワークのいい先生だと感じ、だからこそ、できている部分もあるのかなと思いました。いずれにしても「学校応援団」のような方たちをたくさん作って、豊岡市もコミュニティ・スクールを進めていただきたいと思います。

(教育長)

みなさんの意見も参考にしながら、これから一歩進めていきたいと思います。参加した校長の感想は、コミュニティ・スクールを否定するような声はなかったが、やはり今の学校評議委員会をマイナーチェンジしながら、コミュニティ・スクールにつなげたらという意見がたくさんありました。

しかし、各学校から学校評議委員会の報告が私のところにも届きますが、その報告を見ると機能していないのがほとんどです。年1・2回、委員会をやって、学校の様子を伝え、質問する程度に終わっている状況です。例えば、これだけ子どもが少なくなっているのに、学校評議委員会でそのことが論じられるということは、ほとんどないです。だから、最も課題となることをどうするかということ、コミュニティのそれぞれの代表が知恵を出さないといけないのですが、今はそういうことが全くないです。そこがコミュニティ・スクールと学校評議員会の大きな差だと思うので、そこを母体としながらも、シフトしていかないと、また同じことの繰り返しかなと思います。今の状況は、学校にも責任があり、評議委員の方もそういうつもりで委員として来られていないということがあったので、非常に悩ましいです。

もう1つは、「働き方改革になかなかつながらない」ということも校長からの感想で上がってきていましたので、どうしたらいいのか、これから考えていく必要があると思いました。

【日程 第8 教育委員会活動予定】

(教育長)

それでは、日程第8 教育委員会活動予定に移ります。会議予定、今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

次回第11回定例教育委員会会議は、2月17日(月)午前9時30分から本庁舎3階庁議室、第12回定例教育委員会会議は、3月23日(月)午後1時30分から同じく庁議室で開催する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

2月13日(木)但馬地区教育委員研修会が豊岡南中学校で開催される。また、2月17日(木)と

よおか教育プラン2020実践計画についての教育委員協議会を開催する。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんでしょうか。

(飯田委員)

先日、松井大阪市長が学校再編について論じておられました。大阪は一元的に取り組むと言っておられました。一元的に取り組むと早く進むかもしれませんが、住民の理解が得られるかなと思いつながり聞いていました。

豊岡でも、そういうことを若干加味しなければいけないのではないかと思います。住民の意見を聞かなければならないけれども、粛々とやっていくということをしていかないと、これだけ大きな豊岡市の中では、なかなか進みにくいのではないかという気がしました。

(教育長)

その他ございませんでしょうか

それでは、次回の教育委員会会議は、2月17日(月)午前9時30分から、本庁舎3階庁議室で開催します。

これをもちまして、第10回教育委員会会議を閉会いたします。

————— 閉会 午前11時00分 —————

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2020年1月24日

教育長

委員